

2022年5月24日

エリトリア国独立31周年祝賀オンラインセレモニー

ご挨拶（日本語訳）

城内実衆議院外務委員会委員長・衆議院議員

大使閣下、ご列席の皆様、衆議院議員の城内実でございます。現在、外務委員会の委員長を務めています。

はじめに、エスティファノス大使閣下に、本日のビデオメッセージをお送りする機会を賜りましたことに御礼申し上げます。エスティファノス大使は昨年12月に、私が外務委員会の委員長に就任してまもなく私の事務所にお越しになりました。その日は、非常に有意義な意見交換を行うことができました。

本日は、エリトリア独立31周年をお祝いすべく、ビデオメッセージを送らせていただきます。エスティファノス大使閣下は独立戦争、臨時政府を経て、エリトリアの独立に直接関わっていらっしゃいました。本日の独立記念日オンラインセレモニーを機に、大使閣下の多大な努力、功績に敬意を表します。

エリトリアと日本は良好な二国間関係を構築してまいりました。日本はエリトリアが独立した1993年、エリトリアを承認してから、二国間関係における多くのマイルストーンを成し遂げました。

2003年5月、駐日エリトリア大使館が開設され、本年1月には、在エリトリア兼勤駐在官事務所をようやく開設いたしました。

エリトリアにはTICAD（アフリカ開発会議）に強く興味を持っていただき、またエリトリアの要人の方々にはTICADの東京開催を機に、日本を訪れていただき、感謝申し上げます。2003年、2008年、イサイアス大統領閣下は日本を訪問され、TICADIII、TICADIVにご出席いただきました。2019年、オスマン外

相閣下は日本を訪問され、TICADVII にご出席いただきました。その当時、私は外務副大臣として出席し、オスマン外相のご出席を受け大変喜ばしく思いました。

しかし、オスマン外相にお目にかかることは初めてではありませんでした。2014年、外務副大臣としてエリトリアを訪れた際、表敬訪問をさせていただきました。この訪問は、エリトリアが独立以降いかに発展したかを体感する大変有意義な機会となりました。

先ほど、エリトリアには幾度も TICAD にご出席いただいていると申し上げましたが、本年8月開催予定の TICAD 8 にもご出席いただき、エリトリアと日本は有意義な意見交換を行うとともに、二国間関係の更なる発展に向け、新たな扉が数多く開かれることを期待しております。エリトリアと日本にこれから他に何がもたらされるかを見るのを楽しみにしております。

ご清聴ありがとうございました。エリトリア日関係の更なる発展に向け、協力させていただきたいと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。